



テーマ

Theme

「バリアフリー学習
～心のバリアフリーを目指して～」

学校・園名

School name

多賀町立多賀中学校(3年生)

講師等

Lecturer etc.

国土交通省近畿運輸局

実施日

Date

平成 25 年 8 月 1 日

教科等

Subject etc.

総合的な学習の時間

授業
Class

学習のポイントは、「バリアを知る」「バリアフリー（人々の社会参加を困難にするような社会的、制度的、心理的なあらゆる障壁（バリア）の除去）の必要性を理解する」「高齢者や障がい者が感じている困難さを自らの問題として認識し、その人たちの社会参加に積極的に協力する『心のバリアフリー』を考えていく」ことです。講師から、まずバリア（フリー）についてのお話がありました。点検隊（代表の生徒たち）が事前に調べた学校内のバリアや近隣の駅や地域に潜むバリアについてどのような問題があるのかを考えました。実際に学校内のトイレや手洗い場等を車椅子で利用した点検隊の報告で、少しの段差（2cm）でも全く上がれないことや車椅子の幅があって思うように動けないこと等がわかり、バリアフリーや車椅子の介助の仕方の重要性が理解できました。その後、車椅子の注意点を学び、乗っている側、介助する側の立場にたって実際に車椅子を利用してみました。最後に、車椅子で生活されている方のお話の中で、駅で切符を買うとき等、車椅子に乗っている時の目線の高さの違いからも困ることがたくさんあることを知りました。困っている人を見かけたら、まずは「お手伝いしましょうか」と声をかけていくことが、心のバリアフリーの第一歩になることを実感した学習でした。

感想
Impression

生徒より Impression from Children

- 「バリアフリー教室」を通じて、一人では行けない段差も介助してもらえば行けることを知り、介助の大切さを学びました。なので、体の不自由な人や困っている人がいたら、声をかけるのを恥ずかしがらずに、しっかりとお手伝い出来るようにしたいです。
- 自分たちの意識を少し変えるだけで、車椅子の方がどれだけ喜んでくれるかがわかりました。今日、学んだことを活かして、自分なりに出来ることをやっていきたいです。
- 学校内にあった段差を車椅子で通った体験をしたとき、一人では全然進めないところがあってびっくりしました。でも、誰かの力を借りたら楽に行けたので、困っている人がいたら、勇気を出して声をかけたいです。
- 今日、実際に車椅子の方の話聞いて、ちょっとした段差でもケガをしったりする原因になるので、こわいなあと思いました。学校に最近、階段にスロープがつけましたが、点検したら、まだまだ段差とかバリアがいっぱいあったので、なくなればいいと思います。

学校より Impression from school

打ち合わせや実際のバリア点検等で来校いただき、ありがとうございました。授業では、「心のバリアフリー」を目指してどうしていけばいいかということをいろいろな観点から話をさせていただきました。今後につなげていきたいですし、これからも福祉学習を系統だてた学習にしていきたいと思っておりますので、よろしくお願いたします。

講師の方々より Impression from lecturer

- 中学校で話をするのは初めてでしたが、自分をしっかりと持って、一步一步、歩んでほしいし、これから日本を背負ってもらう方たちなので、頑張ってもらいたいと思います。
- これから先の進路を決める上で、今後も何か役に立つような話をしていければいいなと思います。
- 誰もが暮らしやすい共生社会を実現するには、これからの社会を担う中学生に問題意識をもって、主体的に取り組んでもらうことが重要と考えます。バリアフリーの必要性を理解し、自分たちにも出来る「心のバリアフリー」を実践しながら、誰もが共に生きることでできる社会の実現に向けて、更に取り組みを進めて行ってほしいと思います。そして、バリアフリーの地域の担い手になってもらいたいと願っています。